

# べっぴん 市議会だより

No. 178  
2025.8.1

“たくさんの「ありがとう」の気持ちをバトンのように未来に繋げていく”

**議会改革度ランキング2024発表!!**

## CONTENTS

- P 2 主な議案の概要
- P 3 議決結果
- P 4 議案質疑・常任委員会審査
- P 5~12 一般質問(16名が市政を問う)
- P 13 議会改革度ランキング2024
- P 14~15 議会用語の解説 ほか
- P 16 永年勤続市政振興功労者表彰・編集後記 ほか

別府公園の竹林



# 令和7年第2回定例会で24件の議案を可決！

6月9日から6月25日までの17日間にわたり開催された今定例会では、予算関係1件、条例関係7件、その他7件の議案及び1件の請願が上程されました。

また、定例会最終日には市長より追加議案として、予算関係1件、人事関係1件、さらに議会より、議員提出議案5件、議員派遣1件が上程されました。

市長提案理由では、鉄輪地区のオーバーツーリズムによる交通渋滞を緩和するための有料駐車場を整備すること、また、物価高騰の影響を

受けている市民への支援として、子育て世帯へお米3キロの現物支給を行い、その他の世帯にはお米券を配布するための関係経費等についての説明があり、議案質疑等で活発な議論が行われました。

採決においては、請願について、一部議員から反対する旨の意思表示があり、否決(不採択)となりました。その他の議案については、いずれも原案のとおり可決等すべきものと決定しました。

## ～主な議案の概要～

### ●一般会計補正予算(第1号)

※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています。

観光施設管理に要する経費 ..... 1,777万円

鉄輪地区のオーバーツーリズムによる交通渋滞を緩和するため、有料駐車場を整備します。

予防接種に要する経費 ..... 4,433万円

带状疱疹ワクチンの定期接種化に伴い、65歳の方などを対象に接種を実施します。

小学校の施設整備に要する経費 ..... 1億4,225万円

市内小学校に多目的トイレ付屋外トイレを設置し、避難所の生活環境等の改善を図ります。

【設置箇所】 境川小学校・緑丘小学校・山の手小学校

### ●一般会計補正予算(第2号)

べっぴみんなにお米配布に要する経費 ..... 2億4,110万円

物価高騰の影響を受けている市民の経済的負担の軽減を図るため、子育て世帯には米3キロを現物支給するとともに、その他の世帯にはお米券を配布することにより市民の生活を支援します。

### ●その他

令和7・8年度旧平尾邸の施設整備等に関する協定の締結について

旧平尾邸の設置及び管理に関する条例の制定、指定管理者の指定に係る議決及び旧平尾邸施設整備等に関する基本合意書等に基づき、令和7年度及び8年度旧平尾邸の施設整備等に関する協定を締結するものです。

## 第2回定例会における議案等の審議結果など

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議第44号	令和7年度別府市一般会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)	議第56号	市長専決処分について	承認 (全会一致)
議第45号	別府市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)	議第57号	市長専決処分について	
議第46号	別府市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について		議第58号	市長専決処分について	
議第47号	別府市職員公務災害等見舞金支給条例の一部改正について		議第59号	令和7年度別府市一般会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第48号	別府市税条例の一部改正について		議第60号	別府市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	同意 (全会一致)
議第49号	別府市税特別措置条例の一部改正について		議員提出議案第3号	別府市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第50号	別府市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について		議員提出議案第4号	介護・障害福祉分野の処遇改善、人材育成・確保対策を求める意見書	
議第51号	別府市布設工事監督者の配置及び資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例の一部改正について		議員提出議案第5号	地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書	
議第52号	令和7・8年度旧平尾邸の施設整備等に関する協定の締結について		議員提出議案第6号	2025年度大分県最低賃金の改正等に関する意見書	
議第53号	工事請負契約の締結について		議員提出議案第7号	義務教育費国庫負担制度堅持・教育予算拡充を求める意見書	不採択 (賛成少数)
議第54号	動産の取得について		請願第1号	幼小中学校の給食の完全無償化を求める請願書	
議第55号	市長専決処分について	承認 (全会一致)	議員派遣の件	原案可決 (全会一致)	

## 賛否の分かれた議案等賛否一覧表

議案番号	件名	議決結果	党派・議員名																										
			自民新公会								公明党				市民クラブ			創世会		ビーワンベッブ		弱い立場の人に政治の光を		新たな別府を創る会		日本共産党	創る未来の会	日本維新の会	有志の会
			山本一成	松川峰生	松川章三	吉富英二	小野正明	安部一郎	阿部真一	日名子敦子	市原隆生	穴井宏二	小野佳子	重松康宏	加藤信義	森山義治	三重忠昭	野口哲男	黒木愛一郎	谷口和美	森裕二	泉武弘	森大輔	美馬恭子	中村悟	石田強	塩手悠太		
請願第1号	幼小中学校の給食の完全無償化を求める請願書	不採択 (賛成少数)	×	×	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○			

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」(採決に加わらない為)、法律により採決に加われない議案は「除」



(可決された意見書をHPにて、掲載しています)

# 議案質疑

今定例会の議案質疑では、執行部が提出した令和7年度各会計補正予算や市長専決処分などの議案に対し、8名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

## 議第52号 令和7・8年度旧平尾邸の施設整備等に関する協定の締結について

**問** 今回の平尾邸の公募型プロポーザルの実施にあたって、どのような手順で進めてきたのか。特に公募の公告から決定までの経緯は。

**答** プロポーザルについては、今年の4月から5月にかけて実施しています。公募に際し、B-biz LINK ホームページにて公告を行い、提案書を受け付けました。申請については、共同事業者一者から提案を受け付け、その後審査を経て事業者を決定しました。また別府市とB-biz LINKにおいて、相互に連携し、旧平尾邸の施設整備を行うことにより新たな別府の観光拠点及び地域拠点として保存活用することとして交わした基本合意書等に基づいて令和7・8年度旧平尾邸の施設整備等に関する協定を締結しました。この協定は、本議会の議決を経たのちに本協定として成立するものです。

**問** 施設整備にかかる今後のスケジュールは。また今後市はどのように関わっていくのか。

**答** 令和7年度は、設計業務及び付属屋等の解体工事を行う予定です。令和8年度から建物の改修工事に入り、外構や庭園の工事を経て令和9年度の開館を目指しています。別府市としても、基本合意書及び協定書に基づき実施状況等について報告を求め確認します。

## 議第44号 令和7年度別府市一般会計補正予算(第1号)

### 【観光施設管理に要する経費の追加額】について

**問** 旧山地獄の駐車場を整備する目的や経緯は。

**答** 鉄輪地区、特に地獄めぐり周辺ではオーバーツーリズムによる交通渋滞が頻発しており、住民の皆様から対応を求める声が寄せられております。こうした状況を踏まえまして、観光客や市民の方々が見守り安全かつ快適に利用できる交通環境を確保するため鉄輪地区の旧山地獄前に約30台が駐車可能な駐車場を整備するものです。



(議案質疑の詳細はHPにて掲載しています。)

# 常任委員会審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。

## ●総務企画消防委員会

「議第44号」防災危機管理課関係部分では、総務省消防庁の委託事業として国庫委託金を活用し、著名な講師を招いて、地域防災力の強化を推進するためのシンポジウムや体験ブースなどを開催する経費の追加額として、500万円を計上すると説明がありました。

委員からシンポジウムの時期や周知方法について質疑があり、年明けの開催を目指し、開催場所などが決まり次第、別府市公式ホームページやSNSなどを活用し、幅広い年代に周知していきたいと当局から答弁がありました。

## ●観光建設水道委員会

令和7・8年度旧平尾邸の施設整備等に関する協定の締結について、当局より、協定の相手方であるB-biz LINKの企画力やスピード感などを踏まえ、より地域の実情にあった観光地域拠点を整備していきたい旨の説明がありました。委員から、旧平尾邸は、市が寄付を受けたものであり、最終的には市に引き渡される財産であり、今後の工事においては、下請け事業者との契約を含め透明性を確保し、設計、施工管理においては、市の関係部署と綿密な連携体制を構築することといった要望がありました。観光建設水道委員会として「施設整備については、その進捗に応じて適宜委員会をはじめ議会に報告すること」を求めました。

## ●厚生環境教育委員会

「議第44号」の新図書館外建設工事の部分では、建物の基礎を築くための地面掘削時において、当初の想定を超える数・大きさの転石の発生等により、地中障害物の撤去及びその処理等の費用が膨らんだことと、今後の外構工事においても同様のことが予測されるため、その追加費用も見込んで計上しているとの説明がありました。

また、教育政策課関係部分では、災害避難時の生活環境等の改善を図るため、境川小学校、山の手小学校、緑丘小学校に多目的トイレを備えた屋外トイレを設置する経費を計上しているとの説明がありました。



# 一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。6月議会では16名の議員が市当局の見解をいただきました。主な内容は次のとおりです。

## 市民クラブ

み え ただ あき  
**三重 忠昭** 議員



### 「教職員の産育休代替等」について

**問**▶ 慢性的に続いている教職員の欠員は大きな問題である。人員配置は県教育委員会の責任である。今も人が足りない状況があり、若い世代の採用も増えているなかで、今後産育休を取得する人数も増えてくることが予測できる。産育休代替でも非常勤講師の半日勤務が対応できるように制度緩和をすべきでは。

**答**▶ 欠員状況を少しでも軽減できるよう、産育休に関わる代替の配置条件を緩和するよう県に働きかけていきます。

### 「特別支援教育支援員の増員」について

**問**▶ 特別支援学級に在籍する生徒が過去3年間の推移をみても増えている。令和7年度においては456人で81学級であり、令和5年度と比較して110人、20学級増えている。一方で支援にあたる支援員の配置人数は、過去3年間大きく変わっていない。一人ひとりに適したきめ細やかな支援を考えると増員が必要と考えるが、教育委員会の見解は。

**答**▶ 今後も特別支援を必要とする児童生徒の増員が予測されるため、特別支援教育支援員の増員に向けて努めていきます。

### 「オーバーツーリズム(観光公害)」について

**問**▶ 観光を基幹産業とする別府市において、観光客が増えることは大変喜ばしいことである。一方で、それに伴うゴミの排出量増加やポイ捨て、交通渋滞など市民生活への影響やトラブルも起きていると聞いている。オーバーツーリズムに対し観光客目線と市民目線の両方から想定される対策を取ることが重要であるがどのように考えているのか。

**答**▶ 様々な課題や問題を想定しながら、市民生活に及ぼす影響の解決に向け、関係団体等と連携を図りながら課題解決に取り組んでいきます。

## 創る未来の会

なか むら さとる  
**中村 悟** 議員



### 「長期休暇中の小学生の預かり等」について

**問**▶ 小学校区によって児童数と児童クラブ数のミスマッチが起こりうるため、希望通り入所できない家庭がある現状がある。別府市子ども子育て支援事業計画によると、小学校保護者の86%が長期休暇中に放課後児童クラブを利用したいと答えている。共働き家庭で長期休暇中に低学年の子が朝から1人でお留守番は危険だから避けたいという保護者の思いが見て取れる。放課後児童クラブに入所出来なかった家庭に対し、せめて長期休暇中だけでも日中こどもの居場所となる場を別府市に作ってほしい。就労を希望する保護者が安心してこどもを預けられる環境は必須である。

**答**▶ 長期休暇中のみ放課後児童クラブの利用希望があることは、ニーズ調査の自由意見欄により十分承知しています。長期休暇中においても環境を整え、こどもの健全な育成を図るため、まずは利用者アンケートなどにより、詳細なニーズを把握したいと思います。

### 「学校との連携」について

**問**▶ 学校行政は教育委員会、学校が終わった後の学童保育は子育て支援課、担当課が違えど同じ子どもである。児童の安全確保や健全育成には、両課の実務レベルでの連携が重要だと考える。理由として、こどもの成長支援を一貫して行うため、安全・安心な生活環境を守るため、問題の早期発見とその対応のためなどが挙げられる。そこで放課後児童クラブに関わる連携の現状と今後の在り方は。

**答**▶ 放課後児童クラブが定期的開催している情報交換会に学校関係者は必ず参加している。今後も下校情報や体調など必要と思われる情報は、学校から放課後児童クラブへ確実に引継ぎを行い、十分に情報共有し連携を深めるよう、各学校に指導していきます。



## 「別府市の農業」について

**問**▶ 別府市の地域農業経営基盤強化促進計画はどのような計画か。

**答**▶ 令和6年度末までに地域活動組織がある6地区で策定しています。内容は各地域での農業の課題と今後の農地のあり方を話し合い、農用地の効率的かつ総合的な利用の目標を立て、10年後の農地集積目標を定めました。この計画は地域の状況により随時見直していきます。

**問**▶ 農家戸数や耕作面積の推移は。

**答**▶ 2020年での総農家数は353戸で、10年間で約28%減少しています。耕地面積は341haで、10年間で約4%減少しています。

**問**▶ 販売農家戸数と専業農家の推移は。

**答**▶ 販売農家戸数は2020年調査で152戸と、10年間で89戸減少しています。専業農家数は2020年調査時で31戸です。

**問**▶ 新規就農者数は。

**答**▶ 令和3年以降の4年間で認定新規就農者は5名です。

**問**▶ 担い手確保や農地の集積・集約にむけての取組は。

**答**▶ 食×観光事業や国、県の事業を活用し農業者の所得向上・経営安定に向け取り組んでいます。新規就農希望者に対しては、県、農業協同組合、農業委員会と協力し、就農に向けて伴走支援を行っています。農地の集積・集約については、農業委員会との連携や地域や地権者の希望を尊重し、農地中間管理事業を活用した農地集積を実施しています。

## 「地方創生、少子化対策」について

**問**▶ 第3期総合戦略は人口減少の抑制と人口減少社会課題解決に向けた取組を示すとある。そこで別府市の2050年の人口予測を見ると、出生数・率とも人口減少の大きなカギを握る20歳から39歳までの女性人口が、マイナス28.1%、現在の1万1千人から約8千人に減少するとなっており、また総人口は現在の11万5千人から8万4千人に減少すると予測されている。この人口減少を阻止するための方策として考えられるのが、最近国から発表された首都圏の若年女性62%が地元に着用を持っているという結果があり、この事に注目しUターン・Iターンを促すため、現在実績を積んでいる「仕事の創生」「起業創業」を更に強力に推進し若者が安心して婚活、出生、子育てが可能な定着できるまちづくりを行うためスタートアップ企業の強力な支援、特にベンチャーキャピタル等資金面、サービスプロバイダー（弁護士等）等の整備を行いレベルアップする事が求められるのではないか。その取組は。

**答**▶ 新たな産業創出や事業成長のためには、資金の問題は乗り越えなければならない壁の一つであり、スタートアップ企業が事業会社からの出資による資金調達を実施した例もあり、別府の基盤となる観光産業の活性化及び新たな産業創出を図り起業・創業から事業拡大まで切れ目ない支援体制の構築に取り組めます。また新湯治・ウェルネス等の推進による新たな産業ビジネスや、若者や子育て世代にとって魅力ある就業先の創出により、関係人口、定住人口の増加が図られるよう、引き続き、起業・創業支援体制に鋭意取り組みます。



日本共産党

みま きょうこ  
美馬 恭子 議員



## 「教員の働き方改革も踏まえ、教職員の増員を」

**問**▶ 教室には様々な子どもがいる。その対応として、学校には教育相談コーディネーターや、特別支援教育コーディネーターの役割を持つ先生がいると聞いているが、学級担任をしていることが多いため十分に機能できていないとも聞く。また、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーが学校に配置されているが、複数の学校を担当しているため、1校での常勤は無いと聞いている。是非、現場の声を聞きながらこれらの専門職も増やしてほしいと思うが。

**答**▶ 教員不足の状況及びスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置日数の増加等について、県教育委員会に具体的事例を伝え、今後も働きかけを強化していきます。スクールソーシャルワーカーの配置については、これまで一人あたりの勤務日数を増やし対応してきました。今後は増員の必要性について精査していきたいと考えています。

**問**▶ 特別支援学級の児童生徒は交流学級でも授業を受けるので、現状として標準人数以上の児童生徒が交流学級で授業を受けることがある。通常学級、特別支援学級と分けるのでは無く、共に学ぶ学級編制はできないのか。

**答**▶ 学級編制の基準は「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」で定められています。これに基づいて、県が市町村立学校の学級編制基準を定めているので、通常学級の標準人数に特別支援学級の児童生徒数を含むことはできないことになっています。

日本維新の会

いしだ つよし  
石田 強 議員



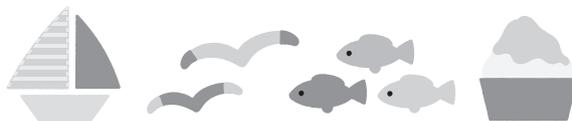
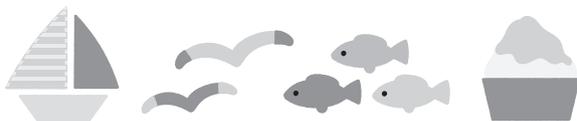
## 「別府身近な課題」

**問**▶ 現代社会における喫緊の教育課題である子どものゲーム・ネット依存について、保護者へアンケートを取り、実態や困り事を把握することが、今後の対策や啓発につながるのではないかと。

**答**▶ 昨年度に県が実施したネット利用実態調査によると、児童生徒の依存度の高まりが危惧される結果が出ています。依存については、学校での指導に留まらず、子どもと保護者間のルールの取り決め等、家庭の役割が大きいと捉えているため、その調査結果を参考に市としての対策を検討します。

**問**▶ 市民の方々から、道路の植栽から雑草が伸びており、観光地として見苦しいというご意見をよくいただく。特に、国道10号や別府インターチェンジの周辺でのご意見が多いと認識しているが、これらの主要な道路における植栽の管理状況は。

**答**▶ 国道10号は、国が管理している国道、別府インターチェンジ周辺は、大分県が管理している県道となっています。県によりますと、路線によって年に2～3回除草作業を行っているとのこと。市が管理する市道の植栽は、年に3回程度除草作業を行っていますが、それ以外でも、除草などのご要望を受けたところは、現地調査を行い、必要に応じて対応を行っています。また、祭りなど、多数の来客のあるイベント時には、周辺道路の除草の回数を増やすなどの対応を行っています。今後も適切な植栽の管理や除草を行います。





## 「新図書館整備事業」について

**問** ▶ 来年3月オープンに向けた進捗状況は。

**答** ▶ 本年10月末に完成・引き渡し後、地域・郷土資料館の展示制作や新しい図書館情報システムのネットワーク構築、カフェの開業準備などの整備を進めていく予定です。

**問** ▶ デジタル化と電子書籍の導入について。

**答** ▶ 資料検索機能の充実や、誰でもどこからでも利用しやすいサービス環境の構築を進めます。電子書籍を500冊以上導入し、様々な理由で来館が困難な方や文字の見えづらさを抱えている方にも、読書の機会を提供します。

**問** ▶ 地域・郷土資料館等の活用について。

**答** ▶ 資料館は「見せる蔵」として収集した資料の展示を行い、別府温泉が発展した資料を次世代へと継承していきます。デジタルアーカイブは、資料の保存や資料閲覧、調査研究に貢献ができる点で有効です。開館後は定期的に展示を更新し、持続的に来館者の興味関心を高められるように工夫していきます。

**問** ▶ 現図書館の今後の休館予定について。

**答** ▶ 本年10月から図書の閲覧や座席の利用などを部分的に制限します。11月下旬から蔵書等の引っ越しのために休館する予定です。休館中には、蔵書点検作業等を行い、図書館オープン時に万全の態勢で市民の皆さまをお迎えできるように準備を進めます。

**問** ▶ 現図書館でのサービスについて。

**答** ▶ 現在の図書館はすべて新しい図書館に移転します。図書館移転後は、市内全域で図書館サービスが受けられるように、南部・亀川・朝日の出張所を活用して予約本の受取ロッカーを設置し、利用者は、図書館のホームページから借りたい本を予約しておけば休館日や開館時間の制約なく、夜間でも資料の受取返却ができます。定期的に司書が巡回し、利用相談や読書相談などの対面サービスも実施します。



## 「地熱発電の未来に夢を！ほか」

**問** ▶ 脱炭素化を国が強力に進めようとする中、二酸化炭素をほとんど出さない温泉熱などを使った発電がより注目されている。温泉湧出にほとんど影響を与えない発電実験も検討されており、この実験施設を別府市が誘致することはできないであろうか。研究成果にもよるが、将来別府市全世帯の電気代を無料にする事も可能であり、売電によって別府市の財政にも大きく寄与する事が出来る。

**答** ▶ 私も10年前、市長に就任した時に温泉熱発電を公約の一つに挙げていました。大規模な発電施設を建設するには、市民の理解が必要であり、温泉に影響を及ぼす事のない小規模の温泉熱利用の発電について関係機関等と協議していきます。

## 「山田・関の江線」について

**問** ▶ 都市計画道路山田関の江線は、県が事業を行っているが、九州横断道路より北は長年整備されていない。この区間は、仮に災害時や国道10号が使えない状況になった場合、災害対応で使えるような主要な道路は旧国道しかなく、大変重要な路線であると思っている。現状や整備の見通しは。

**答** ▶ 県によると、九州横断道路より北への山田関の江線の延伸については、周辺道路網の整備状況を勘案し市と協議・調整を図るとのことです。



ビーワンベっぴ

たにぐち かずみ  
谷口 和美 議員



公明党

あな い こうじ  
穴井 宏二 議員



## 「放課後児童クラブ等」について

**問** 保護者から長期休暇のみ利用したいという声を聞かすが、例えば野口ふれあいセンターなどの施設を開所するなど検討できないか。

**答** 実施したニーズ調査でも利用希望がある事は十分承知しています。まずは利用者アンケートなどにより、詳細なニーズの把握を行いたいと思います。

**問** 保護者負担軽減として、ひとり親家庭で児童扶養手当の非対象世帯で、2人以上預けている家庭に対し助成を検討できないか。

**答** 保護者負担金軽減事業は大分県の補助を受けて実施しており、助成の対象者についても県の補助要綱と同じ対象者としています。

## 「小学校低学年の体育時の着替え」について

**問** 他の人に見せてはいけないところ、見られたくない、見られたら恥ずかしいと感じる事は非常に大切で、自分の体を守る為に欠かせないものである。児童自身が、自分の体を守ることの重要性や、人権の感覚を身につける事は大切である。低学年からの男女別更衣の促進をお願いしたいが男女が同一の教室で更衣する事について教育委員会としてどの様な見解をもっているのか。

**答** 児童の発達段階や、学校施設の使用状況等を考慮し、各学校で判断しているが、児童一人一人の人権を尊重する観点から男女別に更衣することが望ましいと考えます。

## 「ごみ収集」について

**問** ごみの散乱等、カラス被害による衛生面の悪化を防止するため、夏季の一時的措置として、収集車両の増車など収集体制の強化を検討できないか。

**答** 人員確保や車両の準備等必要な為、短期間の増車は困難と考えます。カラス対策として、美しいまちづくり奨励事業補助金の活用を自治会単位でご検討頂きたいと考えます。

## 「こども誰でも通園制度」について

**問** 親の就業状況にかかわらず、子育て家庭が、地域の中で孤立しないように支援の充実が課題となっている。このたび国の方で「こども誰でも通園制度」が創設されたが、その背景と目的は。

**答** 全国的には、0歳から2歳児の約6割が未就園児で、子育て家庭には「孤立した育児」の中で不安や悩みを抱えている保護者がおり支援が求められています。そのような中、全てのこどもの育ちを応援し、ライフスタイルにかかわらず形での支援の強化のため、本制度が創設されることとなりました。

**問** 別府市の未就園児の割合と、3歳～5歳児の未就園児の割合は。

**答** 令和7年4月1日時点で0歳から2歳までのこども1,685人のうち、就園児は1,058人、未就園児は627人と推定され、割合で4割弱です。また3歳から5歳までのこどもの数2,025人のうち、就園児は1,876人、未就園児は149人と推定され、割合で1割未満です。

**問** 厚生労働省の状況確認調査で虐待が認められた中の約4割が検診未受診者、6割が未就園児、1割が学校に行けていなかったとの結果がでている。別府市としてこども誰でも通園制度の導入にあたり、家庭へのニーズの調査を行うのか。また一時預かりと利用条件、利用時間が分かりにくいいため、施設からの意見聴取はどのようになっているのか。

**答** 本市におきましても、他の自治体の利用者アンケートの内容を確認するなどして利用者へのニーズ調査の準備を進めています。また施設の意向を確認し、実施を考えている施設と実施方法等受け入れについての協議を行いたいと考えています。





## 「育児・介護休業法等改正」について

**問** ▶ 現時点での市職員・会計年度任用職員の育児休業取得状況の精査が法改正をスムーズに進める上で必要と考える。正規職員、会計年度任用職員別、男女別過去3年間の状況は。

**答** ▶ 職員の育児休業の取得状況は、令和4年度は正規職員が男性5人・女性14人、会計年度任用職員が男性0人・女性11人。令和5年度は正規職員が男性13人・女性17人、会計年度任用職員が男性0人・女性8人。令和6年度は正規職員が男性5人・女性11人、会計年度任用職員が男性0人・女性3人です。

**問** ▶ 育児休業の取得状況で、男性会計年度任用職員の取得が0人とのことだが、このことについての見解は。

**答** ▶ 育児休業取得に対する意識、男性の育児休業取得事例の低さ、雇用保険から支給される育児休業給付金が十分でないことなどが影響していると考えられます。

**問** ▶ 法改正は正規職員だけでなく、会計年度任用職員をはじめ、すべての職員に適用するという認識で間違いはないか。

**答** ▶ 全事業所が対象です。別府市についても会計年度任用職員を含め全職員に適用となります。

**問** ▶ 具体的な広報・周知方法は。

**答** ▶ 市役所庁内のイントラネットを活用し、会計年度任用職員を含む全職員へ制度の概要や利用方法、最新情報を定期的に更新し、周知を図っています。また、管理職向けにも制度理解と課員への適切な措置について周知し、該当する職員が制度を知らずに活用していない、ということが起こらないようにしています。



## 「物価高を上回る賃上げの実現」について

**問** ▶ 物価高の今、物価高を上回る賃上げを国全体で実現するのは国の課題だが、別府市民の実質賃金の向上を実現することは別府市の課題である。しかし、勤労統計調査によると、賃上げが物価の上昇に追いついておらず、中小企業では物価高による価格転嫁が難しく、厳しい状況にある。今後別府市は、物価高を上回る賃上げをどのように実現するのか。

**答** ▶ 第3期総合戦略の各施策を着実に進めていきます。

**問** ▶ 全国の賃上げの傾向や別府市の市民所得の状況をふか的な観点から考えると、これまでの賃上げは単にコロナ禍からの景気回復や消費の拡大といった需要の増加が要因で起きているのではなく、原材料費の高騰、円安による価格の上昇、人手不足等の生産コストの上昇が要因で起きているのではないか。今後、別府市で物価高を上回る賃上げを実現するためには、労働生産性の向上、観光産業を中心に経済波及効果が行き渡る産業構造の再構築、域内経済循環の推進等に取り組むことが重要である。そのためには、DXの導入補助やリスクリング支援、人材育成、転職などに必要な資格取得の助成事業の充実を行い、中小事業者の業務の効率化やキャリアアップ支援に取り組むべきではないか。

**答** ▶ 国や県の助成制度の活用を促すとともに、補えないきめ細やかな制度についても関係課と研究していきたいと思っています。

**問** ▶ 別府市はデジタル地域通貨を導入し、具体的にどのように地元で稼ぎ地元で使う域内経済循環を推進するのか。

**答** ▶ 市内の店舗のみ使用可能なデジタル通貨に対してポイント還元するだけでなく、地域ボランティア活動や健康推進事業の参加者にもポイント付与を行い市内での消費を促したいと思っています。

有志の会

しおて ゆうた  
塩手 悠太 議員



## 「選択肢を増やす～子育て・介護～」について

**問** 働きながらの子育て支援について、こどもの急な体調不良時に保育所等からお迎え連絡が来た際、迎えに行くことが困難な状況の保護者の代わりに迎えの代行を行い、保護者が迎えに行ける状況になるまで一時預かりを行う事業について過去4回質問しているが、必要性和実施についての見解は。

**答** 実施の必要性の判断にあたっては、保育園等への聞き取りや利用者アンケートを実施する必要があると考えます。現在、聞き取りやアンケートの準備をしておりますので、結果を踏まえて実施の必要性を含めて参考にしたいと考えます。

**問** 人材不足が課題となる中、別府市の人材を十分に活用するために市内在住者の有資格者(国家資格等)の把握を行い、集積したデータを基に人材不足に対応するための政策立案ができると思う。そのためにまずは有資格者の実態調査を行うことを提案するが見解は。

**答** 市民や転入者の有資格者情報の取扱いについては、慎重な配慮が必要であると考えます。

**問** 介護において介護を行っている方の心身のケアは必要である。特に在宅介護において介護保険のサービスを利用してショートステイ等で介護者がリフレッシュすることも可能だが、家で介護機器類がある中で休むことはかなり厳しい。そこで、リゾート産後ケアで提携している旅館ホテル等の非日常空間でリフレッシュできるようなレスパイトケア事業を行っていただきたいが見解は。

**答** 介護者の休息・負担軽減のため介護保険制度で短期入所生活介護や通所介護の活用が考えられるため、まずは、既存の制度を活用していただきたいと考えます。

公明党

おの けいこ  
小野 佳子 議員



## 「防犯カメラ」について

**問** 別府市において防犯に関する取組や対策は。

**答** 正規職員が外勤の際に、12台の公用車に装着した青色パトライトを回転させて、犯罪発生の抑制、地域住民への安心感、防犯意識を高めるために取り組んでいます。

**問** 昨年設置した見守りカメラの設置目的・設置場所は。

**答** 犯罪の未然防止・地域住民の防犯意識向上を図りまちの安心・安全に寄与するものです。通学路・公園・公共施設50箇所に設置しています。

**問** 個人宅における、市内の空き巣や盗難の発生件数は。

**答** 令和5年度の統計で、別府警察署における侵入窃盗が25件、乗り物盗が70件、万引き・車上ねらい・置引き・すり・ひったくりなどの非侵入窃盗が176件、窃盗犯の認知件数は合計で271件です。

**問** 市民が被害に遭わないために、防犯に対して別府市はどのような注意喚起や啓発を行なっているのか。

**答** 別府市防犯協会連合会の活動に対して経費を補助しています。主な活動は「地域安全ニュース」の発行、詐欺被害防犯講話、中学生を対象とした安全運動、街頭での防犯啓発活動やキャンペーンへの参加や訓練です。

**問** 空き巣や強盗から命と財産を守る「住まいの防犯対策」として、不審な動きを監視する体制を整える事は重要である。他市では防犯対策機器の購入と設置費に対する助成制度の導入をしているが、本市で導入の考えは。

**答** 各家庭での防犯対策の充実は市全体の防犯力の向上に寄与するものです。今後、一層の防犯力向上に向け取組を推進します。

公明党

しげまつ  
重松

やすひろ  
康宏 議員



弱い立場の人に政治の光を

いずみ  
泉

たけひろ  
武弘 議員



## 「フードドライブの取り組み」について

**問**▶ 家庭などで余った食料品を持ち寄り、食べ物を必要としている人に届ける活動であるフードドライブは別府市ではどのように行われているか。

**答**▶ 一例として、別府市社会福祉協議会がフードドライブを実施しています。個人や団体からのほか、市内のスーパーや量販店などのフードドライブ活動で集められた食品などをご寄付いただき、食に困っている個人やひとり親家庭のほか、子ども食堂や児童養護施設など食料支援を必要とする方々に配布されています。

**問**▶ 別府市社会福祉協議会が中心となって行っているとのことであるが、市としてフードドライブの重要性についてどのように認識しているか。

**答**▶ フードドライブにより、家庭や企業で余った食品が廃棄されることなく、食料の支援を必要とする人へ届けられることで、地域に助け合いの精神が広がり福祉の醸成が図られます。また、食品ロスを回避することで、廃棄過程で発生する二酸化炭素を減少させ、地球温暖化防止にもつながる重要性の高い取り組みであると認識しています。

**問**▶ フードドライブの取り組みは、環境問題や貧困問題の改善につながっていくと考える。こうした認識を共有していただくために、市の職員を対象にフードドライブの取組を実施していただきたいと思うが、いかがか。

**答**▶ 様々な課題に対する効果的な取組であるフードドライブについての認識を市職員で共有し、率先して協力することも必要と考えます。今後、定期的に食品などの寄付を市役所内部で呼びかけ、実施できるよう関係各課と協議を進めてまいります。

## 「どうする、共生社会、大学との連携」

**問**▶ 3大学の経済波及効果は把握しているか。

**答**▶ 立命館アジア太平洋大学開学10周年の際、県が経済波及効果を約211億円と推計し発表していますが、3大学での経済波及効果を推計したものはありません。

**問**▶ 立命館アジア太平洋大学開学総事業費300億円のうち、172億円を県・市が補助金として支出、市は2万坪の私有地を無償で寄付している。これまでの卒業生は25,000人で留学生が半分を占めている。卒業生の地元就職者数は。

**答**▶ 直近3年間で24名です。出国や帰国する方も多いですが、別府を拠点として、いつでも繋がり卒業生を応援するネットワークの構築に取り組んでいます。

**問**▶ 立命館アジア太平洋大学とのまちづくり連携交流協定を積極的に進めるべきでは。

**答**▶ 協定事項については、具体的にどのような分野で共に研究し街づくりを進めていくか、再度考えていくことも必要であると思います。

**問**▶ 県内の外国人労働者は12,176人で3年連続増加している。生活実態調査をしてサポートすべきでは。

**答**▶ 実態把握をすることは、今後も役立つので検討します。

**問**▶ 外国人の日本語教育をどうするのか。

**答**▶ 介護・福祉・医療・建設で働く外国人がどのような困りごとがあるかをしっかりと企業と行政が把握します。今後は様子を見ながら、各種団体と話をし、必要であれば速やかに対策を練ってまいります。

**問**▶ 市独自の外国人相談センター設置をしては。

**答**▶ 県と情報共有しながら、サポートが必要な部分があれば対応を検討したいと思います。

# 議会改革度ランキング2024

## 県内1位、九州2位、過去最高順位の全国33位に

### 議会改革度 ランキング

早稲田大学マニフェスト研究所が議会改革度の状況について共通指標を用いてランキング化するもので、全国全ての地方議会を対象に実施、今回の調査では全国1,788議会ある中、1,544議会が回答した結果です。

調査は「政策力強化」「主権者参画」「議会機能強化」の3つの分野の評価点数の合計で様々なランキング評価がされます。

### 別府市議会の 議会改革の特徴

- ・生成AIの活用により、会議要旨の作成や、本会議Youtube配信における自動字幕変換表示
- ・職場体験を兼ねた学生のインターンシップ受入や学生の議会見学と議員との意見交換
- ・車いす席設置、携帯用助聴器貸出、本会議Youtube配信、会議録公開など誰でも傍聴できるための取組

### 過去最高順位の 全国33位に

別府市議会は、今回の調査で全国33位となり、2010年の調査開始以降、これまで123位(2023年調査)が最高でしたが、昨年の123位から33位と大幅に順位を上げ、過去最高の評価結果となりました。

## 別府市議会 議会改革度調査2024結果

全国総合 **33位**

得点：710点 / 2,590点  
(全国平均：295点 最高点：1,110点)

県内総合順位

**1位**

自治体区分内\*順位

**22位**

\*全国「一般市」内での順位

### 分野別順位・得点

#### 《政策力の強化》

全国順位 93位  
県内順位 2位  
自治体区分内順位 55位

#### 《主権者の参画》

全国順位 21位  
県内順位 2位  
自治体区分内順位 13位

#### 《議会機能の強化》

全国順位 119位  
県内順位 1位  
自治体区分内順位 61位

令和7年度も、引き続き市民に開かれた議会の実現を目指して、議会改革の取組を進めてまいります！

## 議会用語の解説について



### 「常任委員会」とは？

常任委員会は、議会で提案され付託を受けた議案等の審査や市の事務に関する調査・研究を専門的な分野毎に行うため、常時置かれている委員会です。別府市議会では、総務企画消防、観光建設水道、厚生環境教育の3つの常任委員会を設置しており、各議員は少なくとも1つの委員会委員となることが条例で定められています。任期は2年です。

### 「特別委員会」とは？

常任委員会のほかに、特定の事件を審査、調査するために設置する委員会となります。本市では、当初予算審議及び決算認定審査を行う予算決算特別委員会を設置しています。目的に応じて、諸課題などを審査、調査するため、特別委員会を設置することが可能です。

### 「議会運営委員会」とは？

市議会を効率的かつ円滑に運営するため、条例で設置する委員会です。会期、議事日程、議案等の取扱い、質問の取扱いなどの議会の運営や会議規則、委員会条例等に関する事項などを協議、調査、審査します。

## 虚礼廃止にご理解ご協力を

公職選挙法に基づき、虚礼廃止の徹底を行っています。

別府市議会ではこの一環として、初盆のお供えには、御霊のご冥福を祈る「追悼あいさつ文」を持参して、お参りすることにしています。

政治家が、暑中見舞い状を出すことや、お中元などを贈ること、お祭りへ寄附することは、法律で禁止されています。

また、有権者の皆様が、政治家に勧誘・要求することも法律で禁止されています。

市民の皆様には、趣旨をご理解のうえご協力をお願いいたします。

## ..... 請願・陳情 .....

どなたでも市議会に請願・陳情することができます。請願とは、国や県・市に対し要望や意見を述べることをいいます。別府市議会に請願書を提出するには別府市議会議員の紹介が必要になります。

詳しくは別府市議会ホームページをご覧ください。か、議会事務局までお問合せください。

なお、令和7年第3回定例会の請願の受付期限は8月22日(金)17時までです。



## \\ 令和7年度市議会モニターを募集します //

別府市議会では議会の裾野を広げる取組の一環として、多様な広報広聴手段を活用し、議会及び市政への関心を高めるとともに、いただいたご意見等を議会改革などの議会活動につなげるため、若年層に特化した市議会モニターを募集します。

- 応募資格 議会運営に関心がある満18歳以上28歳未満の市内に在住、在勤または在学の人(公務員・議員は除く)
- 募集人数 若干名
- 委嘱期間 委嘱の日から令和8年3月31日
- 活動内容 本会議等を傍聴し、議会運営に関する意見書の提出や市議会議員との意見交換等(傍聴はケーブルテレビでの放送やインターネットでの配信も含め都合のつく範囲で結構です。)
- 応募方法 任意の様式で①住所②氏名③年齢④電話番号⑤メールアドレスを明記の上、郵送・FAX・メール等で下記までご応募くださるか、もしくは、下のURL、QRから別府市議会ホームページに移動していただき、申込み専用ページから申し込んでください。
- 応募期限 8月15日(金)まで

別府市議会ホームページURL <https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>



別府市議会  
ホームページへ

- お問い合わせ先 別府市議会事務局  
〒874-8511 別府市上野口町1番15号  
TEL:0977-21-1547 FAX:0977-23-9800  
E-mail:sec-cc@city.beppu.lg.jp



## 令和7年第3回市議会定例会会期日程(予定)

9月 2日	議案上程	18日~19日	} 一般質問
8日	議案質疑・委員会付託	24日	
9日	常任委員会審査	25日	一般質問(予備日)
11日~12日	} 予算決算特別委員会	29日	各委員長報告
16日		討論、表決	
17日	予算決算特別委員会表決	※日程は変更することがあります。	

### 本会議を 中継しています

別府市議会では、市民の皆さまに議会をより身近に感じていただくよう、ケーブルテレビとインターネット、スマートフォン、タブレット端末による本会議の生中継と録画中継による本会議の放送を行っています。

#### 放送日時

本会議開催日(午前10時から)

#### 放送内容

議案の提案理由説明、議案質疑、一般質問など

#### 放送メディア

●ケーブルテレビでの中継  
C/TBメディアとんぼチャンネルで生中継します。

#### ●インターネットでの中継

別府市議会ホームページ  
<https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>  
にアクセスしてお入りください。

(また、全日程終了後、概ね1週間後から約2年間録画中継を放映しています。)

※議会で中継は公式記録ではありません。公式記録は本会議後に調製する会議録となります。



# 永年勤続市政振興功労者表彰

第101回全国市議会議長会定期総会において、永年にわたり市政の振興に貢献された功績により功労者表彰を受賞された議員に対し、6月定例会最終日の議事終了後、表彰状の伝達式を執り行いました。

永年勤続10年：小野 正明 議員      安部 一郎 議員      阿部 真一 議員



左から 長野 恭紘市長、小野 正明議長、安部 一郎副議長、阿部 真一議員

## 【議会改革推進委員会が次の役員構成で設置されました】

議会内の懸案事項を集中的に協議することを目的として令和4年6月に設置された「議会改革推進研究会」が令和7年3月より「議会改革推進委員会」として活動を開始し、新たな委員構成となりました。

(委員名)	加藤 信康(委員長)	阿部 真一(副委員長)
	森 裕二	小野 佳子
	吉富英三郎	野口 哲男



©Team Beppyon



編集後記

べつぷ市議会だよりをご覧いただきありがとうございます。広報広聴委員会では、議会と議員の活動を広く知っていただくために、年5回の市議会だよりを発行しています。議会広報の重要性が高まる中、市議会だよりは大きな役割を担っていると感じていきます。

今議会においても、地域課題や市民ニーズに即した活発な議論が展開され、その内容や議員の活動ぶりを詳しくお知らせしていきますので、議会に対する理解と市政への認識を深めていただければと存じます。そのためにも、二元代表制の二翼を担う市議会として、市民福祉の向上、市政の益々の発展等、その担うべき役割や責務を果たしてまいります。

開かれた議会を目指し、市議会だよりが単なる広報手段ではなく、市民の皆様とのコミュニケーションのツールとして、これからも「より身近で必要とされる」紙面づくりを努めてまいりますので、一層のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

別府市議会広報広聴委員会

副委員長 重松 康宏

No.178 令和7年8月1日

編集：広報広聴委員会

発行：別府市議会

住所 〒874-8511 別府市上野口町1-15 TEL 0977-21-1547

メール sec-cc@city.beppu.lg.jp ホームページ <https://www.city.beppu.oita.jp/gikai/>